

3. 個別事業に対する提言

3項目

内訳：渡邊副委員長 1項目、加瀬委員 1項目、渡邊副委員長・加瀬委員 1項目

通番	担当課	要覧該当 ページ	事業 番号	対象事業名	掲載案	委員名
1	地域福祉課	64	39	総合相談窓口事業	生活支援、ひきこもり、孤立化、ヤングケアラー、自殺、8050問題等々、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、重層的支援体制整備事業を進めていることと思われます。 包括的な支援とともに、支援に繋がらない方の掘り起こしについて、「さーくる」に期待しています。	渡邊副委員長
2	地域包括ケア推進課	84	66	認知症サポーター養成講座事業	認知症については重要な社会問題として取り組む必要があると思います。小学生と地域の住民との認知症サポーター養成講座に参加しましたが、予防体操、認知症すごろくを使ってのわかりやすい認知症の学習会でした。学校での認知症サポーター養成講座は進んでいるとは思いますが、地域の住民と一緒に認知症を理解するのは大切なことと思います。 「認知症推進計画」の中で当事者の声も反映するようになっていきますので、地域全体で取り組みの強化を期待するうえで次の3点について提案します。 ①各町会・自治体等に対して受講を増やす取り組みを進めること。 ②受講者やキャラバン・メイトに地域で活躍する場を提供できるような仕組みづくりを進めること。 ③認知症を支援するサポーターの目印となるオレンジリングがあると、いざというときに他のサポーターや支援団体と連携して認知症の方を支援することができるため、無償配付について検討すること。	渡邊副委員長
						加瀬委員
3	地域包括ケア推進課	69	46	地域ケア会議等の開催	市内24地区において実施されている地域ケア会議は、地域福祉の原点と言っても過言ではないと感じています。 地域包括支援センター・在宅介護支援センター・地区社協・地域のケアマネジャー・病院・民生委員・地域関係者等がチームとなって高齢者を支える為に会議を開催し、あらゆる面と多様な組織からの意見を取り入れ緻密な検討をしています。 また、個別ケア会議では、関係する機関・個人が本人の為に最良の方向を検討して対応するため、長時間に渡り話し合いを行います。 つきましては、例えば飲物を提供することで参加者がリフレッシュできるような、より生産性の高い会議を目指すのはいかがでしょうか。	加瀬委員